

# <マクドナルドの食育支援活動>

小・中学校のための教材  
「食育の時間」

活動の名称 **日本マクドナルドの食育支援活動**

団体等の名 **日本マクドナルド株式会社**

## 活動に含まれる（連携している）団体等

- 幼稚園  保育所  小学校  中学校  高等学校  中等教育学校  特別支援学校
- 児童館  公民館  図書館  PTA  子育て・教育支援団体、NPO  企業・事業所
- 病院・保健所  早寝早起き朝ごはん運動・家庭教育支援に関する実行委員会・協議会
- 行政（教育委員会）  行政（保健・福祉部局）  行政（その他の部局）
- その他（

## 活動の概要



### ◆ 活動の目的・趣旨

未来を担う子供たちの健全な育成を願い、食を扱う企業の責務として、子供たちが楽しく食べるよるこびを知り、食に関する正しい知識と習慣を身につけてもらうことを目指して食育支援活動に取り組んでいます。

### ◆ 主な活動内容

孤食や偏食、朝食の欠食、肥満・痩身、生活習慣病など、子供たちの抱える課題解決の一助となるべく、唯一の機会均等の場である小・中学校の教育現場での食育を重視し、NPO 法人企業教育研究会と株式会社 NHK エデュケーショナルと共同でデジタル教材「食育の時間」を開発、無償提供しています。教材提供にとどまらず、授業用教具の貸出やモデル指導案の配布など、先生方の授業づくりをサポートする体制も整備し、全国各地で継続的に食育授業が実施されることを目指して取り組んでいます。他、保育園・幼稚園、小学校等で当社キャラクターによるドナルドワークショップを開催し、子供たちに「バランスよく食べることの大切さ」を伝える活動も展開しています。

## 小・中学校のための教材「食育の時間」



子供たちにとって身近で大切な6つのテーマを0～5時間の時間割で構成したデジタル教材です。

WEBサイト「食育の時間」で公開しています。

ちゃんとお食べる.jp  
詳しくは [www.chantotaberu.jp/](http://www.chantotaberu.jp/)



“早寝早起き朝ごはん”の大切さを伝える「0 時間目：朝ごはんってなぜ大切なの？」朝食と血中のブドウ糖量や体温変化の関係から生活習慣までをアニメで分かりやすく解説しています。

### ◆ 活動の成果と今後の展望

「食育の時間」を活用した授業は全国の小・中学校で実施されており、これまでに多くの子供たちが授業で楽しく食育について学びました。デジタル教材という特性を活かし、子供たちの興味をひくアニメーションを用いた問題提議、楽しみながら学べるゲーム、そして専門家の話や科学的根拠等で「なぜ大切なのか」までを説明しているため深い理解を得られる、何より子供たち自ら課題解決へと導く授業がしやすいとのお声を先生方からいただいております。

授業実施回数：**5,573**回、受講した児童・生徒数：約**16**万人

※食育授業支援事務局に報告いただいた数、2007-2016年末累計

一人でも多くの子供たちが「食を選択する力」を身につけられることを願い、今後も学校を主体とした食育支援を継続できるよう教育現場のお声に耳を傾け、また、ご家庭での食育にも繋がるような支援を目指してまいります。

<「食育の時間」に関するお問い合わせ：食育授業支援事務局 048-308-7229>